

やすみやま 一般国道185号休山改良

受賞機関 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所

はじめに

休山新道は、呉市内中心部と阿賀・広地区を結ぶ通称「呉越峠」と呼ばれ区間の急勾配・急カーブに起因する「交通事故多発区間」の解消と、朝夕の交通混雑解消を目的として建設した、全長2.6kmのバイパスである。

事業の概要

- 延長：2.6km（うちトンネル部1.7km）
- 道路規格：第4種1級
- 車線数：4車線（暫定2車線）
- 総事業費：約300億円（暫定）

事業の経緯

本事業は昭和17年、国道「特27号」として旧内務省が事業着手し、阿賀側で約150m掘り進んだものの、第2次大戦の戦況悪化により中止された。

その後、平成元年度より用地買収、平成6年度から工事を再開したものである。

事業の特徴

(1) 歩行者対策

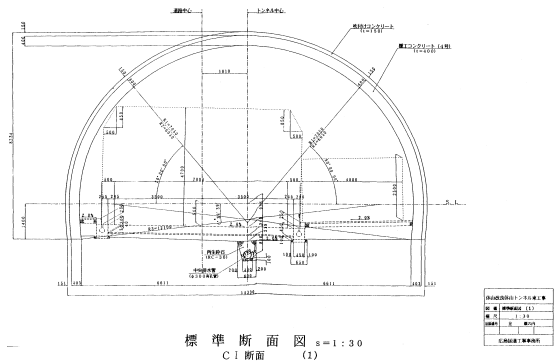
市街地同士を短絡するルートであるため、暫定側のトンネルには幅員4mの自転車歩行車道を併設した。このため掘削断面87.4m²、扁平率0.57となった。

(2) 環境対策

トンネル内の換気対策として、両坑口には民家が密集しているため、直径4.2m、延長140mの換気縦坑



休山トンネル



を設置した。なお、本縦坑の掘削にあたっては、日本最大級の掘削径（5.105m）によるレイズボーラー工法を採用した。

また、両坑口の明かり部においては、排水性舗装と併せ、騒音予測値に対応した遮音壁を設置している。

現在、呉越峠を合せた一日の交通量のうち約70%にあたる40,000台弱の交通がトンネルを利用している。また、自転車利用も約400台と多い。今後は、交通事故減少なども含め、事業の整備効果を整理・検証していく予定である。

受賞賛助会員 (株)荏原製作所中国支店、大成ロテック(株)中国支社、(株)東芝中国支社、飛鳥建設(株)広島支店、日本鋼弦コンクリート(株)岡山営業所、(株)フジタ広島支店

